

26:1 夏の雪、刈り入れ時の雨のように、誉れは愚かな者にふさわしくない。
26:2 逃げる雀のように、飛び去る燕のように、理由なしに、のろいが来ることはない。
26:3 馬にはむち。ろばにはくつわ。愚かな者の背中にはむち。
26:4 愚かな者には、その愚かさに合わせて答えるな。あなたも彼と同じようにならないためだ。
26:5 愚かな者には、その愚かさに合わせて答えよ。そうすれば彼は、自分を知恵のある者と思わないだろう。
26:6 愚かな者に託して言い送る者は、両足を切られ、暴行を受ける。
26:7 愚かな者が口にする箴言は、足の萎えた者の垂れ下がった足。
26:8 愚かな者に誉れを与えるのは、石投げ器に石を結わえ付けるようなもの。
26:9 愚かな者が口にする箴言は、酔った人が手に取り上げる茨。
26:10 愚かな者や通りすがりの者を雇う者は、だれかれかまわず射抜く射手のよう。
26:11 犬が自分の吐いた物に戻って来るように、愚かな者は自分の愚かさを繰り返す。
26:12 自分を知恵のある者と思っている人を見たか。彼よりも、愚かな者のほうが、まだ望みがある。

「理由なしに、のろい」は来ないとあります。何か良くないことが起こったなら、その原因や、神様のみこころを考えて見ましょう。さらに良い祝福のためかもしれませんし、きよめられるチャンスかもしれません。

「愚かさに合わせて」答えると、争いになります。自分が論破したらと喜んでいても、結局自分も愚かなレベルになってしまっていることに気づきましょう。神の視点と神の目的に立ちましょ。

「愚かな者」のあるあるが続きます。反面教師として、心に刻みましょう。その時は助かるからといって「愚かな者」に責務を預けると、後に面倒を抱えることになります。特に神様の働きにおいては、本当にイエス様を愛して従っている人に任せましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

